

継続事業評価シート

評価確定日 平成31年4月3日

平成30年度(2年目)

事業コード	35	事業名	県連合会・県職協の具体的な取組			戦略コード	4	戦略名	機動的・能動的な商工会		
担当部名	総務部	担当課名	総務・人材育成課	担当課長名	市井 仁	施策コード	18	施策名	自ら考え行動する職場改善活動の実施		

【事業内容】

1. 事業実施当初の背景

社会経済情勢の変化により小規模事業者の経営環境が厳しさを増す中で、事業者ニーズに対応し商工会の使命を果たすことが求められている。そのためには、商工会が業務を効率的に進めることができる職場環境を整備していかなければならない。

2. 事業のねらい

県連合会と県職協が一体となって、職場単位で自らの仕事の進め方、あり方を総点検し、職員一人ひとりが自覚をもって職場改善活動に取り組むことで、質の高い仕事につなげるとともに、仕事に対するモチベーションを高めることにつなげる。

3. これまでの評価結果

過年度	H29	A	H30		H31		H32
-----	-----	---	-----	--	-----	--	-----

職場改善活動計画を策定したことにより職場内の課題を共有し、今後の方向性を検討することができた。

4. 昨年度の評価(対応方針)に対する対応

策定した計画に基づき、商工会単位で職場改善活動に取り組むことができた。

【取組評価】

取組コード	取組	実績	必要性	有効性	効率性	総合評価
81	職場改善方針の提示	県連合会が職場改善方針を提示し、各商工会で職場改善活動計画を策定した。	a	a	a	A

評価指標と実績 達成度: a(達成率が100%以上)、b(100%未満80%以上)、c(80%未満)

取組コード	取組コード					取組コード	取組コード					取組コード	取組コード				
指標名	指標名					指標名	指標名					指標名	指標名				
年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33	年度	H29	H30	H31	H32	H33
目標						目標						目標					
実績						実績						実績					
達成率						達成率						達成率					
達成度						達成度						達成度					

【事業評価】

1. 3つの観点からの評価

【必要性の観点】 現状の課題に照らした妥当性 取組評価の必要性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈評価の理由〉

働き方改革を推進するためには、効率化に資する業務改善が必要不可欠である。

【有効性の観点】 事業目標の達成状況 取組評価の有効性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈事業の目標は達成されているかどうか〉

具体的な目標は設定されていないが、職場単位で改善を行っている。

【効率性の観点】 コスト(金銭・時間・人材)削減のための取組状況 取組評価の効率性が a(すべてa判定の場合) b(a,c以外の場合) c(c判定2つ以上の場合) **a**

〈コスト削減に向けた具体的な取組内容または取り組んでいない理由〉

職場単位の工夫により改善を図っている。

2. 総合評価・理由 A(順調)3つの観点の評価結果がすべてa判定の場合 B(概ね順調)A、C以外の場合 C(見直しが必要)3つの観点の評価結果がc判定2つ以上の場合 **A**

業務の効率化を進めるうえでは、業務改善が非常に重要となることから、継続的に取り組んでいく必要がある。

3. 課題

商工会単位での取組となっており、現状が把握しきれていないことから、先進事例を収集し、仕組みづくりが必要である。

4. 今後の対応方針(改善点)

「職場改善チェックシート」の見直しを行い、県職協による職場改善活動の状況確認を行う。